技能検定に於ける検定内容詳細

【使用薬剤】NPO法人日本ヘアカラー協会 / 協賛メーカー薬剤使用
（協賛メーカーはJHCAホームページより参照）

＜ハイライト＞ パウダーブリーチ オキシ6%
＜ワンメイク＞ ナチュラル系10 Lv オキシ6%

（薬剤規定に従ってください）

【内容】 ウィービング＋ワンメイク（トーンアップ）
新ヘアカラー入門（P59-61)参照

ウィービング（3.3.7）15枚
ワンメイク（トーンアップ）
) 35分

自然放置 30分

流し・ドライ、ノンブロー・仕上げ 30分
ヘアカラー施術後はノンブロー、アウトバス・スタイリング剤なし（ハンドドライのみ）

【ウイッグについて】
- ウィッグ（レジーナEX-7または337S 2016年以降製造のもの）
  バージン毛の状態で使用のこと
- 台座下の長さでワンレングス
- ドライ、ノーパート、オールバックシェイプ、の状態よりセクショニングスタート

セクショニング

セクショニングの順番について

1（フロントボックス）…センターパートを中心に、奥行約３cm、幅約６cmで取る。

2 3 （サイドセクション）…両サイドを奥行き約6cmで取り、イア・トゥ・イアに向けて約4cm下ろします。横には、フェイスラインに向けて平行なスライスを取る。

4（つむじ周り）…サイドセクションの奥行きから、フロントボックスの延長線上に幅約3cm、奥行き約2cmで取る。

ホイルワーク

ホイルワークの順番について

ホイルワーク

ホイルワークの順番について

4 （つむじ周りについて）カバーリング、スライス幅詳細

4 つむじ周りはセクションラインと平行なスライスを取り、＜深さ3mm、幅3mm、間隔7mm＞のウィービングを取り薬剤を塗布。１枚目は約５mmのスライス。2枚目は約1cm。合計2枚入れます。

上のセクションはホイルが入れづらいので、しっかりオンベースに引き上げる。

上の図、 のように頭頂部に表面2mmのカバーリングを残します。

2 3（サイドセクションついて）カバーリング、スライス幅詳細

2 3 サイドセクションにうつります。フェイスラインのヘムラインには　　カバーリング２mm取ります。
＜深さ3mm、幅3mm、間隔7mm＞のウィービングを取り薬剤を塗布。します。
バックと同様に上のセクションはホイルが入れづらいので、しっかりオンベースに引き上げます。
１枚目は厚さ5mmのスライスをとり、左側よりホイルを入れます。（頭の丸みに合わせてオンベース）
厚さ1cmのスライスで上の図の要領で片側5枚、逆サイドも同様に合計10枚のホイルを入れます。
上の図、　　のように頭頂部に両サイド共に、表面に2mmのカバーリングを残します。

1（フロントボックスについて）カバーリング、スライス幅詳細

1 はフェイスラインに沿った厚さ5mmのスライスを引き出し、＜深さ3mm、幅3mm、間隔7mm＞
のチップを取り、フェイスラインに余った2mmのカバーリングを残します。
（　　上図参照）
２線目からは厚さ1cmのスライスで取ります（　　上図参照）
フロントボックスは計３枚入れます。
余った2mmがフロントボックスのカバーリングになります。

トリプルスターのウィービングは計15枚で終了。
全てのホイルを入れ終わったら、ワンメイクの準備を行います。
ホイリング部分を全て上に上げてシングルピンで固定します。
ホイル周りの毛もダックカール等で上にまとめて止めます。ホイリング以外の部分は４セクションに分け取ります。

ワンメイク

ホイルワーク後のワンメイク手順について（中間から毛先）

ステムはオンベースに引き出し
塗布量は毛先にかけて増やします

バックの３から５パネル目やサイドの３パネル目以降
などスライス幅が広くなるので頭の丸みに合わせて
根元から全ての場所が1.5cm空くように
＜真ん中→右→左＞の順に塗布します。

ホイルワーク後、ワンメイクの塗布のために、ホイリング部分をすべて上にあげて、シングルピンで優しく固定します。
ホイリング以外の部分を４セクションに分けます。
中間から毛先はネープから。厚さ2cmから3cmのスライスをオンベースに引き出し、
根元1.5cm空けた位置から薬剤を塗布していきます。ハケの角度は60度から０度に徐々に寝かせながら進み、
毛先まで伸ばします。（シングルスター同様です。）頭の丸みに合わせてオンベース（上図参照）
根元を1.5cm空けて塗布します。塗布の順序は＜左バック→右バック→右サイド→左サイド＞

ホイルワーク周りの塗布手順について

根元の塗布手順について

5 のセクションから順に、ホイルとホイルの間のスライスを1枚1枚丁寧によけながら塗布していきます。
スライスは各セクション上から順に、横スライス、オンベースに引き出し根元1.5cm空けた
位置から薬剤を塗布していきます。コームをホイルに引っかけないように注意します。

根元の塗布手順について

根元の塗布（ 3 4 のセクションはダッカールで軽くとめておく）約1cmの横スライスで引き出し
少なめの薬剤で根元の表と裏両方に塗布します。
番号に沿って、アンダーセクションから上に塗り進めていきます。
頭の丸みに応じてスライスが広くなる部分は＜真ん中→右→左の順に＞塗布し上に向かって進みます。

5 のセクションも横スライスで下から塗布します。

部、耳上、顔まわりもみあげ付近の塗りもれが多いのでしっかり塗布します。

部、薬剤がたまらないように注意します。

チェック塗布

根元チェック塗布について

ホイル周り、根元の塗布手順について

ホイルとホイルの間のパネルの根元は、ハケを横移動させて塗布します。

富士額付近は塗りもれがあるので注意します。

ハの字スライスでバックより根元部分を塗布します。バックからのそのまま左サイドまでハの字スライスで塗布し、その後右側をチェックします。
最後に、ホイル周りを再度（ホイル周りの根元の手順と同じ）チェックし終了です。